

ライフステージによって直面する困りごと



大きく変わりつつある国内外の環境

- アメリカでは…米連邦最高裁判所は 2015 年、**同性婚は合衆国憲法上の権利であると認める判決**を下し、事実上同性婚が認められました。
- 国内では…2015 年国会議員が、**LGBT に関する課題を考える議員連盟**を超党派で結成し、さらに 2017 年には、性的少数者の

の当事者と支援者の**地方議員**で作る「**LGBT 自治体議員連盟**」が発足しました。

- 自治体では…20 歳以上の**同性カップル**を**結婚に相当する関係と認める、「パートナーシップ制度」**を導入する自治体がありました。(現在までに 6 自治体)
- 民間企業では…2013 年の**男女雇用機会均等法の改正**により、**LGBT に対する差別的な言動や行動**についても、**ハラスメント(嫌がらせ)**であるということが認められ、職場での対応が義務づけられました。また、**社内やサービスで、同性パートナーを配偶者として認める企業**もあります。**死亡保険金の受取人に指定**できるようになり、**携帯電話などで家族割引の対象**にしたりする例があります。
- 東京オリンピック・パラリンピックでは…2014 年、オリンピックの基本原則などを示した**オリンピック憲章に、性的指向によるいかなる差別も禁止**する内容の文言が盛り込まれ、大会の準備・運営段階で調達する**すべての物品は、権利侵害のないもの**を提供することが求められています。



「男性と女性だけで二分すること」「異性を好きになること」だけが普通なのではありません。生活や人生が人それぞれであるように、人間の性も本来多様なものです。周りの人が少しでも理解していれば、LGBT も暮らしやすくなります。そのためには区別することなく関心を持ち、正しく知ったうえで、ちょっとした気遣いをすることが大切ではないでしょうか。それが、多様性を受け入れる第一歩となるはずです。

それぞれの違いを尊重し、認め合い、誰もが生きやすい世の中にしていきたいと思います。

LGBT に関する相談や活動について(一部の機関です。)

【相談機関】厚生労働省 よりそいホットライン
電話 0120-279-338

【県内活動団体】スクランブルエッグ
HP <http://gochamazetamago.main.jp/>

編集後記

LGBT についてなんとなくわかってはいたつもりでしたが、正しい知識がなかった。会議を通して、基礎的な話と正しい理解の必要性を感じた。(K)

★★★編集：さんかく編集委員 6 名★★★



さんかく

※この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性 (Female) と男性 (Male) がともに支え合い、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願って!!
第 25 号 企画課 男女共同参画室 (内線 2156)

ちがいを認め、生きやすい社会へ

テレビや新聞、インターネットなどで「**LGBT**」という言葉聞いたことがある方は多いのではないのでしょうか。
「**LGBT**」とは、4 つの単語の頭文字をつなげた、**セクシュアルマイノリティ(性的少数者)**の総称として使われることもある言葉です。この言葉は、「**どんな性別の相手を好きになるか(=性的指向)**」や「**自分の性別をどう認識しているか(=性自認)**」などといった性別に関する内面的な部分について表す言葉で、世界中で使われています。

編集協力：スクランブルエッグ
青森県内でセクシュアルマイノリティや性の多様性について知ってもらうための活動をしている市民サークル

Lesbian
[レスビアン]
女性同性愛者

Gay
[ゲイ]
男性同性愛者

Bisexual
[バイセクシュアル]
両性愛者

Transgender
[トランスジェンダー]
性別に違和感のある人

日本では、**7.6%**(約 13 人に 1 人) いるという調査結果があり、学校で例えると、クラスに 2~3 人いる割合になります。

(出典：電通ダイバーシティラボ「LGBT 調査 2015」)
「でも、LGBT は自分の周りには一人もいない。」と思いませんか？それは、「社会の性別は男と女であり、性はこうあるべき」という固定観念があるからではないのでしょうか。社会生活の様々な場面で差別や偏見が日常的にあるため、いまだに多くの人が周りに言い出せずに苦しんでいます。最近では、国や県、市区町村、企業、テレビなどで理解が、少しずつ着実に進み、様々な制度ができていますが、社会のあらゆる面でまだまだ困難は続いています。

■ LGBT だけじゃない、性の在り方について

一般に性別と聞くと、外見から見た「男性」、「女性」を思い浮かべますが、性には

- ① 身体の性
 - ② こころの性
 - ③ 好きになる性
 - ④ 表現する性
- の 4 つの要素があると考えられています。

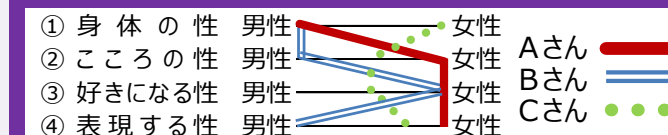
この 4 つが組み合わさることで、**セクシュアリティ(性の在り方)**が構成されます。

性は人の数だけあり、**グラデーション**のようなものです。例えば、右の図の A さんについて、生まれ

たときの①身体の性は男性、②こころの性は女性、③好きになる性は女性で、④表現する性は女性です。

また、異性愛者で性別違和のない男性は、B さんのように表すことができます。

性のグラデーション



最近では「**SOGI**」(**Sexual Orientation and Gender Identity**「性的指向と性自認」)という言葉で、全ての人に関係があることを表現しています。



レインボーフラッグ
「多様性」を表しており、世界中で LGBT の象徴となっています。